

全火薬引報

第585号 令和6年1月

郵便番号 104-0032

発行元 公益社団法人

東京都中央区八丁堀4丁目13番5号

全国火薬類保安協会

電話 03(3553)8762

発行責任者 川崎 勝樹

www.zenkakyo-ex.or.jp

年頭所感

経済産業省 産業保安グループ
鉱山・火薬類監理官 大川 龍郎



公益社団法人全国火薬類保安協会の会員及び関係の皆様には、日頃より火薬類の保安の確保に努められるとともに、火薬類の保安行政に格別の御高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

冒頭、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震において亡くなられた方々に心から御冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された全ての方々に御見舞いを申し上げます。

経済産業省としては、「人命第一」の原則のもと電力、石油、ガスのエネルギーインフラの復旧をはじめ、経済産業省が所管する物資について「プッシュ型支援」の実施等に取り組んでいるところです。

世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵略により国際的なエネルギー情勢は一変し、電気・ガソリン等のエネルギー価格の高騰や化石エネルギーへの過度な依存によるリスクが顕在化しました。将来の経済成長や雇用・所得の拡大に繋げるため、グリーントランスフォーメーション（GX）の実現に向けて早急な取組みが必要であり、昨年は、GX実現に向けた基本方針の閣議決定や、GX推進法とGX脱炭素電源法の成立など、GXの実現に向けた環境整備を行いました。

産業保安分野においても、こうしたカーボンニュートラル（CN）への対応に加え、保安人材の不足・高齢化など、将来にわたって産業保安を継続的に確保する上での課題が顕在化しています。さらには、IoTやビッグデータ、AI、ドローン等の新たなテクノロジーが革新的に進展する中、他の分野と同様、このような技術を導入して、データを駆使することにより、保安レベルと操業の効率性・生産性を持続的に向上させるための取組みである「スマート保安」の時代を迎えております。産業保安やその規制体系の前提となる経済社会情勢が大きく変化する中、我々は、今、将来の産業保安の在り方を考える上で、大きな転換の時期を迎えているということができると思います。

例えば、脱炭素燃料である水素・アンモニアなどはCN達成に必要な不可欠なエネルギー源ですが、サプライチェーンの各段階において、安全を前提としつつ、利用環境の整備を着実に実施していくことが重要です。昨年3月には、水素サプライチェーン全体を見渡した水素保安の全体戦略を取りまとめた「水素保安戦略」を公表しました。これに加えて、昨年8月には「水素保安小委員会」を新たに設置し、将来の水素社会等の実現も見据え、保安の制度的措置を含め、水素等に係る保安の在り方について議論を進めております。

また、CO₂の削減が困難な産業を念頭に置きつつ、CO₂を地下に貯蔵する技術であるCCSを円滑に推進するに当たり、CO₂の導管輸送や地下への貯蔵について保安を確保するため、ガス事業法や鉱山保安法なども踏まえつつ、新たな規制体系を構築すべく検討を進めているところです。

このような中、火薬類の保安においては、平成27年度から議論がスタートした性能規定化作業もようやく一通りの作業を終えられたことから、本年は、政府全体で進める「デジタル原則」の取組みに沿って、これまで人が介在して行ってきた保安措置について、安全性について一切妥協しないことを前提に、革新的なテクノロジーやデータ利用等の新たな技術の活用可能性を広げ、火薬類の保安の合理的な規制の実現並びにより一層の向上を図ってまいります。

火薬類は、鉱山や採石場、更には我が国の伝統文化である煙火での利用に加え、自動車やエネルギー、航空・宇宙分野といった先端産業など幅広い分野で活用されており、我が国の経済にとって無くてはならないものです。一方で、その取り扱いを誤ると重大な事故に繋がるリスクを有するものでもあり、その安全な運用には火薬類を扱う皆さんひとりひとりが保安に関する専門知識を持って取り扱うことが不可欠です。

貴協会には、今後とも保安責任者試験の指定試験機関として適切な業務運営をお願いするとともに、火薬類の保安に関する講習、教育及びその支援などを通じ、火薬類の保安に貢献していただくことを期待します。

最後に、皆様の益々の御発展と御安全を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

以上

新年のご挨拶

公益社団法人 全国火薬類保安協会
会長 宮道 建臣



新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、平素より公益社団法人 全国火薬類保安協会の事業活動に対し、多大なるご理解、ご協力、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧がなされることを祈念申し上げます。

昨年の火薬類による事故は、82件発生しました。製造中2件（産業火薬1件、がん具煙火1件）、消費中76件（産業火薬2件、煙火57件、がん具煙火17件）、がんろう中1件（産業火薬）、その他3件（煙火2件、がん具煙火1件）発生し、被災者数は19人（重傷6人（煙火5人、がん具煙火1人）、軽傷13人（産業火薬1人、煙火8人、がん具煙火4人）となっております。死亡事故の発生はありませんでしたが、82件は昭和58年の82件以来の高い水準となっております。

背景として新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類から5類に移行し、感染防止対策としての行動制限が緩和され、花火大会やイベントが再開されたことが挙げられます。また、昨年の夏は各地で猛暑に見舞われ、花火大会会場での散水が不十分となり、下草の火災が広がるという事故が散見されました。

猛暑という観点からは、東京の年平均気温（1月～11月）は平年より1.8度高い18.4度で、1876年以降では最も高くなり、また、東京の猛暑日（日最高気温35度以上の日）は22日で、観測史上初めて20日を超えました。地震、台風や集中豪雨などと共に、高温下での消費、管理など、様々な環境下での火薬類の保安に万全を期していくことが必要です。

会員等の皆様におかれましては日頃より法令の遵守、自主保安活動に努められていることは重々承知いたしておりますが、改めて危害予防規程や作業マニュアルを確認し、事故・災害の防止にご尽力いただきたいと思います。

明るい話題としましては、昨年はWBCで侍ジャパンが劇的な優勝を果たし、大谷翔平選手はMLBでMVPを獲得、藤井聡太棋士は最年少名人獲得し、史上初の八冠全冠制覇の偉業を達成するなど、各方面での活躍がありました。こうした分野での熱戦には更なる熱い応援で、活躍を期待したいと思います。

経済産業省におかれましては、火薬類取締法の技術基準が産業実態の変化や技術の進歩など、時代の変化に対応した適時の見直しが行え、かつ、事業者の創意工夫が生かされるように、技術基準の性能規定化（スマート化）に取り組んでおられます。昨年貯蔵の技術基準についてパブリックコメントが実施され、仕上げの段階となっております。

全国火薬類保安協会といたしましても、性能規定化に対応する適合性評価の体制整備に取り組むとともに、火薬類取締法の目的である「火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保する」ことを達成するため、IT化などの社会的な要請にも応えながら、手帳制度・保安講習、保安責任者試験を着実に実施し、自主保安活動を推進してまいります。

新しい年が皆様にとりまして、事故の無い良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

迎春 2024年

監	監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	専務理事	副会長	副会長	会長
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	川	小	新	宮
土	森	長	木	櫻	杉	才	山	山	小	泉	荒	佐	川	須	藤	川	小	新
屋	岡	谷	村	井	津	田	内	田	川	木	藤	島	田	野	崎	倉	井	道
久	憲	文	雅	康	雄	善	浩	元	文	慎	雷	成	洋	高	徹	勝	幸	建
美	祐	雄	哉	祐	治	之	行	宏	生	一	太	美	和	幸	弥	樹	一	充
子																		臣

◆発破作業、あせらずあわてず確実に

◆気を抜くな 扱う相手は 火薬類

● 令和5年度甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験の結果について

令和5年11月6日・7日の両日行われた甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験の合格者は12月22日に発表されました。

区分	出願者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種製造	112	97	18	19
乙種製造	27	22	7	32
計	139	119	25	21

● 主要行事予定表 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期、中止の可能性が有ります。
ホームページ等でも随時お知らせします。

開催年月日	主要行事
令和6. 2. 26	第37回理事会
3. 12	第23回総会(臨時)
5. 28	第38回理事会
6. 12	第24回総会(定時)
9. 1	甲種・乙種火薬類取扱保安責任者試験、 丙種火薬類製造保安責任者試験(知事試験)
10. 30~31	甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験(大臣試験)
未定	全国会議、試験事務所長会議
未定	手帳制度研修会

● 産業火薬類の生産、出荷(販売)、在庫量(経済産業省生産動態統計月報)は経済産業省のホームページ中の統計からご覧ください。

URL https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html#menu5

● 令和5年火薬類関係事故について(1月9日までに報告のあったもの) 総括表(取扱・種類別一覧表)

項目	種類別	事故件数		死亡者数		負傷者数	
		件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産業火薬	1	2	0	0	0-0	0-1
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	1		0		0-1	
消費中	産業火薬	2	76	0	0	0-0	6-11
	煙火	57		0		5-8	
	がん具煙火	17		0		1-3	
玩ろう中	産業火薬	1	1	0	0	0-1	0-1
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0-0	
その他事故	産業火薬	0	3	0	0	0-0	0-0
	煙火	2		0		0-0	
	がん具煙火	1		0		0-0	
合計	産業火薬	4	82	0	0	0-1	6-13
	煙火	59		0		5-8	
	がん具煙火	19		0		1-4	

※運搬中、貯蔵中の事故件数、死亡者数、負傷者数はありません。
※詳細は、弊協会のホームページをご覧ください。

● 景気は、緩やかに持ち直している。

- 12月の月例経済報告 -

内閣府は19日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「12月の月例経済報告」を提出し、承認された。

※詳細は、内閣府のホームページをご覧ください。

URL <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

● 全国火薬類保安協会からのお知らせ

(公社)全国火薬類保安協会では令和6年度の事業として次の国家試験及び講習の実施を予定しております。

【国家試験の実施】

○甲種・乙種火薬類取扱保安責任者試験、丙種火薬類製造保安責任者試験(知事試験)について

本試験は、火薬類の消費、貯蔵または煙火等の製造に関わる方々を対象として実施しております。近年は火薬類関係者とともに学生、警察・消防、公務員、自

営業の方等受験者の範囲は広がっております。本年度も火薬類関係機関における人材の育成、保安の向上にお役立ていただくことを期待しております。

本試験は令和6年9月1日(日)に全都道府県で実施する予定です。

○甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験について

本試験は、火薬類の製造に関する保安責任者資格を得るための試験ですが、近年では火薬工場における技術者の全体のレベルアップも兼ねて本試験をご活用いただいている事業者もおられます。

本試験に合格すると、取扱保安責任者試験は全科目免除になります。

本試験は令和6年10月30日(水)~31日(木)に東京で実施する予定です。

詳細につきましては、当協会のホームページ等でお知らせいたします。

【令和6年の保安教育講習の実施について】

令和6年の手帳制度に基づく保安講習につきましては、昨年同様、対面式講習とします。コロナ禍が収束したとは言えない状況であることは明らかであり、政府の基本方針に沿った感染防止対策について、引き続きご留意、ご協力の程お願い申し上げます。

【書籍販売】

当協会では下記の書籍を取り扱っております。

1. 過去問の解答と解説

令和3年度から令和5年度までの知事試験問題を、試験科目別にわかりやすく整理、解説しています。令和6年4月発売予定です。

2. 火薬類取締法令の要点

本書は、おもに火薬類取扱保安責任者試験のために火薬類取締法令を勉強される方や、現在火薬類の仕事に従事されている方を対象に、法令の主要な条項を中心にまとめたものです。

令和3年版(2021年版)から、火薬類取扱保安に関する条項に加えて、製造に関する条項も記載しています。すなわち、丙種火薬類製造保安責任者の資格試験に挑戦される方や煙火の製造に携わっておられる、あるいはこれから従事されようとする方にも役立てていただけるよう、製造に関する条項も載せています。ただし、対象とするのは煙火の製造に限定しています。したがって、産業火薬や無煙火薬等の製造に関わる業務に従事される方には不足する条項がありますので、ご注意ください。

3. 煙火の製造と保安

丙種火薬類製造保安責任者の資格取得を目指して勉強される方の参考書です。煙火の製造方法、煙火製造所の保安管理技術、煙火の性能試験方法について詳細に説明しています。

4. 建設用びょう打ち銃、同空包の安全な取扱い

以上詳細につきましては、当協会のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

公益社団法人 全国火薬類保安協会
TEL: 03-3553-8762 FAX: 03-3553-8763
e-mail: info@zenkakyo-ex.or.jp URL: <https://www.zenkakyo-ex.or.jp/>

● 「火薬類危害予防」の標語について(入選作品)

「火薬類危害予防」の標語の募集について、ご応募いただきありがとうございます。

講習広報委員会において選考審査を行い、入選12作品を決定しました。

令和6年度から令和11年度の危害予防週間等における標語として順次活用させていただきます。

令和6年度 発破作業 焦るな急ぐな 手を抜くな

大矢 義明 様 (株)ジャパックス

火薬類 使うあなたが責任者 正しい知識で良い管理

古木 智江 様 昭和金属工業(株)岩瀬工場

令和7年度 飛石防護は確実に みんなで確認 安全退避

八木偉留真 様 清水建設(株)北海道支店ニッ森トンネル作業所

ハッキリ合図 シッカリ確認 みんなで防ごう火薬事故

平野 純弘 様 清水建設(株)土木東京支店

令和8年度 発破前 ダブルのチェックで 退避ヨシ!

宇治川徳夫 様 清水建設(株)北海道支店ニッ森トンネル作業所

火薬作業 慣れと油断が事故のもと 初心忘れず 無災害

田村 紀子 様 昭和金属工業(株)岩瀬工場

令和9年度 発破前 必ず確認 退避ヨシ!

宮古 一 様 前田建設工業(株)

事故防止 技と知識と緊張感

深谷とし江 様 昭和金属工業(株)岩瀬工場

令和10年度 発破作業 規則を守って 慎重に

齊藤 達也 様 明星開発(株)

小さな油断が大きな事故へ 手順を守って安全作業

石神 宏朗 様 鉄建建設(株)札幌支店

令和11年度 火薬庫の 在庫確認 盗難防止

嶋田 祐馬 様 明星セメント(株)糸魚川工場田海鉱業所

安全は 心の余裕と 準備から

永井 昌吾 様 昭和金属工業(株)岩瀬工場

(参考)応募総数は、308作品(分類1(発破、盗難防止)238作品、分類2(保安一般、教育講習、運搬)71作品)でした。